

「パパと公園」

藤原 彩羽 (ふじわら いろは) 5歳 幼保連携型認定こども園むつみ保育園
(東北教区)

彩羽さんは、黄色いすべり台を今まさに滑り降りようとしています。お父さんは下でカメラを構えて、可愛い我が子が一人で階段をどんどん登り、すべり台を楽しそうに滑るたくましい姿を写そうとシャッターチャンスをうかがっています。そんな、休日の公園でのお父さんと自分との姿をいきいきと描き出しています。

お父さんが私を主人公にしてくれている。それがとても嬉しかったのだと思います。周りには、大きなブランコや、穴の空いた山のような青い遊具が描かれ、よく見ると、鉄棒の下には砂場のようなものも描かれています。この時期の幼児の描画表現では、手前ものから奥へと積み重ねるように描いて行きます。重ならないように、全部が見えるように描くのです。これはまさに、彩羽さんからの素敵な「絵の手紙」です。とても表現力豊かに語られていますね。

●表紙のことは●



おお はし いさお
大橋 功

岡山大学学術研究院
教育学域